

## 2003 年度 W G 活動成果報告

(2004 年 3 月 24 日作成)

WG 名	建築の色彩設計 WG	主 査 名：榎 究
所属小委員会 (所属運営委員会)	光環境小委員会	主 査 名：井上容子
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>次の 3 つの対象群を想定して、建築色彩に関する教育プログラムを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中高校生（学校での美術、家庭科、総合学習の授業を想定）</li> <li>・ 建築学科学生（建築設計および環境工学での授業を想定）</li> <li>・ 一般人（講習会、チラシによる啓蒙などを想定）</li> </ul> <p>年度後半には、それぞれの教材づくりを開始する。 並行して、色彩設計の難しさに直面した事例などを収集する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>飯島祥二 (岡山商科大学) 石田泰一郎 (京都大学) 稲垣卓造 (大同工業大学) 大山能永 (大成建設) 大野治代 (大手前大学) 佐藤仁人 (京都府立大学) 中山和美 (東京電力) 榎 究 (実践女子大学) 望月菜穂子 (竹中工務店) 山本早里 (筑波大学) 宮本雅子 (滋賀県立大学) 井上容子 (奈良女子大学)</p>	
	色彩と明視性 S W G	
2003 年度予算	32,000 円	

項 目	自己評価
WG 活動状況 (開催日・参加人数)	<p>・ 第 1 回 (5/23): 12 名      第 4 回 (10/27): 7 名 ・ 第 2 回 (7/31): 7 名      第 5 回 (11/21): 8 名 ・ 第 3 回 (9/5): 7 名      第 6 回 (3/26): 報告時、未開催</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>初年度は、当初設定した目標のうち、建築系の学生を対象にした色彩設計教育プログラムについて検討を行った。 第 1 回、第 2 回、第 3 回の WG を通じて、委員が現在行っている色彩設計教育を互いに紹介するとともに、WG の活動内容を検討し、シンポジウムの開催を決定した。 第 4 回は、シンポジウムの内容について話し合い、建築以外の領域のパネリストを交えて建築色彩の商品性、公共性を討論するものとするという方向性が決定した。 第 5 回では、色彩設計教育プログラムに盛り込む内容の整理を行い、第 6 回でプログラムを構成するユニットごとの担当を決定し、次年度の教材整備につなげる予定である。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>全 6 回の活発な討議を通じて、色彩設計教育プログラムの骨子が固まり、シンポジウムの内容もほぼ見えてきた状況である。具体的な成果物の作成は次年度に持ち越すことになるが、ほぼ満足できる成果が得られたと考えている。</p>
その他評価すべき事項	